



▲倒木やごみを撤去する参加者

芦生自然学校や地元漁業組合の組合員、佛教大学の学生ら35人が参加して、美山クリーンリバー作戦が行われました。今回は棚野川の清掃活動を実施。早朝から、旭橋を起点に下流方向へ作業を開始しました。午後からは、砂本地区から下流に下る班と由良川合流地点から上流へ向かう班に分かれ作業を実施。例年に比べ不法投棄物は少なかったものの、それでも倒木やビニールごみなど軽トラック10台分のごみが集められました。

9/10 美山クリーンリバー作戦

「不法投棄を無くして川をきれいに」

「望遠鏡で観察する宇宙の不思議」

第11回「星をもとめて」が、るり溪温泉ポテポテパーク一帯で2日間にわたって開催され、京都府内外から約500人の天文ファンが集まりました。初日の午後は、太陽の観察会が行われ、特殊な望遠鏡で普段見ることのできない太陽の黒点やプロミネンスなどを観察しました。また、望遠鏡工作教室では多くの親子連れがケプラー式望遠鏡を完成させました。日が暮れてからは、参加者が持参したさまざまな望遠鏡で星の観察を楽しみました。



▲特殊な望遠鏡で太陽の観察を行う参加者

9/18~19 第11回「星をもとめて」

「海外へ出れば良い経験ができる」



▲パナマでの活動の様話をされる小林さん

平成21年6月から今年6月までの2年間、中米パナマへ国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊員として赴任していた小林由香里さん（園部町）が、市役所を表敬訪問され活動報告をされました。小林さんは村落開発普及員として、パナマの農村部ノベグレ先住民自治区を中心に、村おこしのための特産品開発に従事されました。「私は、どんどん海外へ行きたい。海外へ行けばいろいろな発見があるし、良い経験ができる。学生の皆さんも一歩を踏み出してほしい」と話されました。

8/22 青年海外協力隊員活動報告

「26種類の魚の生息を確認しました」

南丹市自然と人ふるさとクラブなどが参加し、八木町西田の大堰川寅天堰付近で、京都府のレッドデータブックの絶滅寸前種に指定されているアユモドキをはじめとする生態調査を実施しました。昨年度に実施した調査では、5年ぶりにアユモドキの生息を確認したものの、今回の調査では見つかりませんでした。投網などで調査を行った結果、ナマズやオイカワなど26種類もの魚の生息を確認しました。中には、非常に珍しいコイ科のハスの生息も確認されました。



▲採った魚の観察を行う参加者

9/28 アユモドキ生息確認調査